



目標・希望・友達



令和7年 3月 7日
長崎市立女の都小学校
校長 佐藤 和幸



先週と打って変わって今週は冬の寒さとなりました。そこで、3月の全校集会では、「三寒四温」の話をしました。日本では、2月から3月にかけて寒い日と暖かい日を繰り返しながらだんだん春に近づいていくまさに今の時期を表す言葉ですが、もともとは、朝鮮半島や中国の北東部で冬の時期にみられる天気を表す言葉でした。ちなみに、俳句では冬の季語になります。

暖かくだんだん過ごしやすくなってくる3月ですが、別れの月でもあります。6年生との別れ、今の学年との別れ、もしかしたら先生との別れもあるかもしれません。残りの一日一日を大切にしたいと思います。



(代表委員会で決めた6年生を送る会のテーマ)

6年生を送る会

3月5日(水) 午前11時から1時間、体育館で「6年生を送る会」を行いました。18日の卒業式には、在校生代表として5年生が参加しますが、1年生から4年生の児童にとっては、最後の別れの会になりました。

1年間、女の都小学校のリーダーとして様々な場面で活躍してくれた6年生に感謝の気持ちと中学校での新しい学校生活に対する応援の気持ちを伝える会でした。1年生から5年生は、歌や踊り、クイズ、メッセージなどそれぞれ工夫した発表を行いました。それに対して、6年生は卒業式で歌う「旅立ちの日に」の合唱を披露しました。

みんなが6年生の卒業を祝う温かい会となりました。

卒業式に向けての掲示



飛び出しくん

女の都小学校の玄関前に、横断歩道に加えて「飛び出しくん」を設置しました。

車やバイクの運転手に注意を促すものですが、子供たちも飛び出しくんを設置してから、横断歩道の前でいったん止まることが多くなりました。

一般の道路でも安全に横断してほしいと思います。

